

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

10/10

アカデミック英語 No.4

英語で反論・譲歩する —— Although・However・Admittedlyを使った論証

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。英語記述で「I think that～」の連続で書いた答案と、Although・However・Admittedlyを使って反論と譲歩を構造化した答案の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきました。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 英語意見論述・反論問題

東京大学・京都大学・慶應義塾大学医学部の英語では、「反対意見を踏まえて自分の立場を論じよ」という問題が出題される。Although+主節・However+逆接・Admittedly+譲歩の構造を使える受験生は、採点者（大学教員）に「アカデミックな論証力がある」と評価される。

② 医療倫理・社会問題の英語論述

「安楽死に賛成か反対か、反対意見も踏まえて論じよ」という問題は、医学部推薦入試で出題される。反論・譲歩の構造を持つ答案は、一方的な主張の答案との評価が明確に異なる。

③ 英語グループ面接・ディスカッション

英語ディスカッションで「Admittedly, that is a valid point. However, I would argue that…」と言える受験生は、試験官（大学教員）に「英語での論理的思考力がある」と即座に評価される。

2. 具体的な大学・学部との対応

| 大学・学部 | 出題の傾向 | 本講座との対応 |
|------------------|-----------------|---|
| 東京大学・京都大学 英語 | 反対意見を踏まえた意見論述問題 | Although・However・Admittedlyの構造が採点者に論証力を示す |
| 慶應義塾大学 医学部・理工学部 | 医療倫理・社会問題の英語論述 | 反論・譲歩の構造が一方的主張の答案との差を生む |
| 東京科学大学・順天堂大学 医学部 | 英語意見論述・グループ面接 | 反論構造が英語ディスカッションでの存在感に直結する |
| 医学部推薦・総合型選抜（全般） | 英語意見表明・グループ面接 | 採点者（大学教員）に「アカデミックな論証力」を即座に示せる |

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

英語記述を「自分の意見を一方向に並べる」アプローチで書く受験生は、採点者が求める「反論を踏まえた論証力」を示せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）Although・However・Admittedlyを使って反論・譲歩を構造化できる、（2）英語意見論述で「アカデミックな論証の型」を示せる、（3）英語グループ面接で論理的に議論に参加できる、という変化が起きる。

何十年も英語の答案を採点してきた清光学院の講師陣は、英語論述問題で「一方向の主張の答案」と「反論・譲歩を構造化した答案」の評価の差を採点者として知っている。